

国道6号 常磐バイパス

**未来の土木技術者が建設工事現場を体験**  
～福島高専生が菅波（すぎなみ）大橋上部工工事を見学～

平成30年1月24日（水）に、国道6号 常磐バイパス 菅波大橋上部工工事の現場を福島工業高等専門学校 都市システム工学科の生徒さんが見学します。

菅波大橋は延長110mの逆ローゼ（アーチ系）橋です。工場で製作されたPC版を専用の機械を使用し、橋の床版を施工しています。

この見学会は、施工業者であるドーピー建設工業（株）の主催によるもので、高専生が直接現場の状況を目にすることにより、建設業界の役割や魅力を伝えること、若者の職業意識を高めることを目的に実施するものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解を深めていただきます。

1. 日時：平成30年1月24日（水） 13:00～14:30（予定）
2. 場所：国道6号 常磐バイパス 菅波大橋（すぎなみおおはし）
3. 見学者：福島工業高等専門学校 都市システム工学科 2年生 42名
4. 取材について
  - ①取材を希望される方は、前日17:00までに別紙「現場見学会取材申込書」によりFAXにてご連絡をお願いします。
  - ②当日は、12:55までに「菅波大橋 現場集合場所（別紙位置図参照）」にお集まり下さい。
  - ③雨天でも開催しますが、豪雨等が予想される場合は中止になる場合があります。

問い合わせ先

【見学会に関するお問い合わせ】

甲塚こ道橋上部工外工事 施工業者  
ドーピー建設工業（株）  
監理技術者 菱沼 尚美  
0246-84-7435

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局  
磐城国道事務所 0246-23-2211（代表）  
副所長 石井 重好（内線204）  
工務課長 橋本 幸雄（内線411）

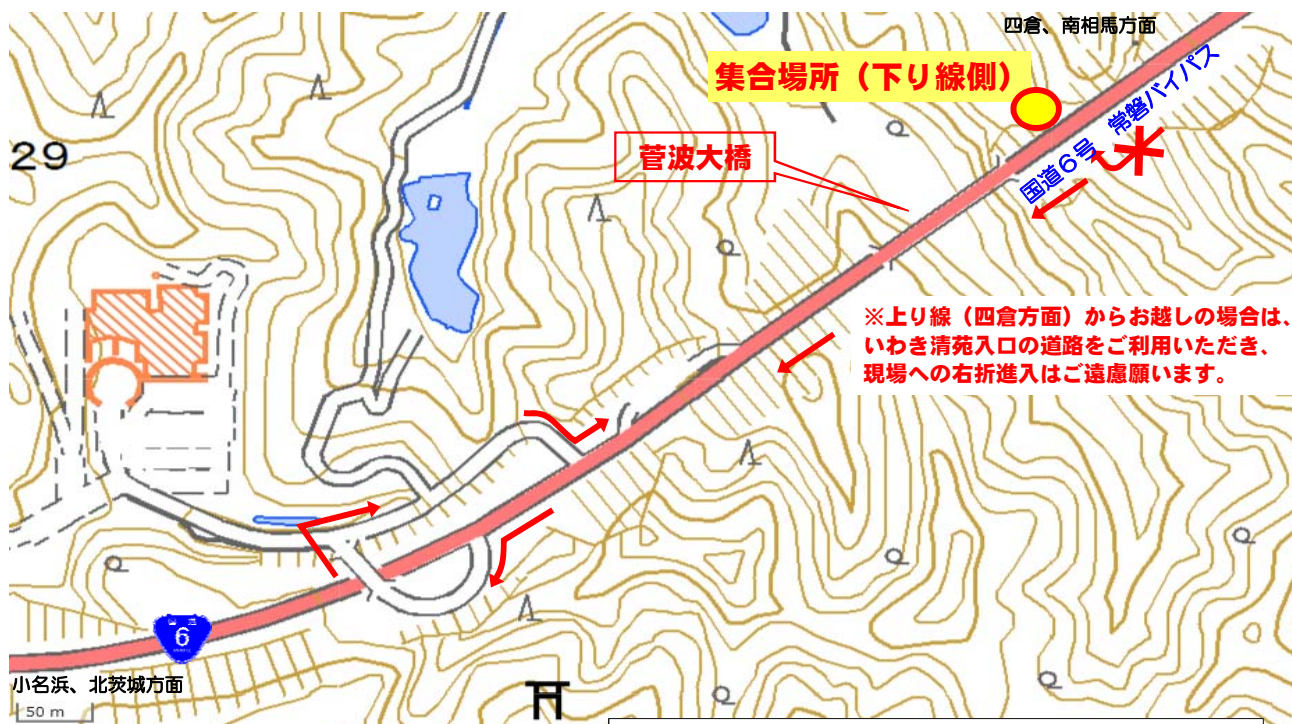
【工事に関するお問い合わせ】

磐城国道事務所 平出張所 0246-34-8394  
出張所長 清水 吉典

※発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課

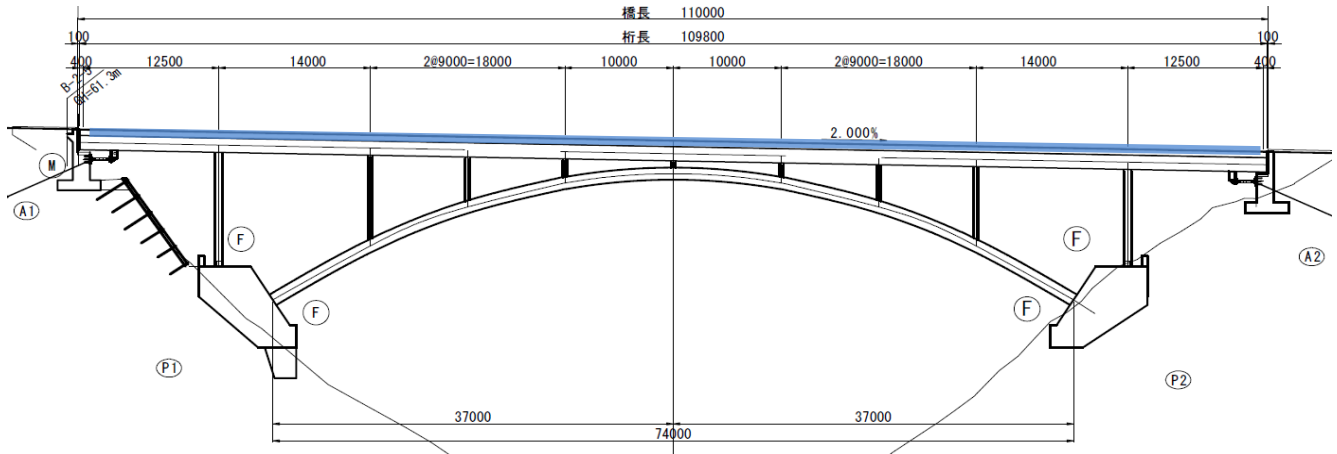


## 菅波大橋および現場位置図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 (タイル) を複製したものである。(承認番号 平29東復、第33号)」

## 【菅波大橋 工事概要図】



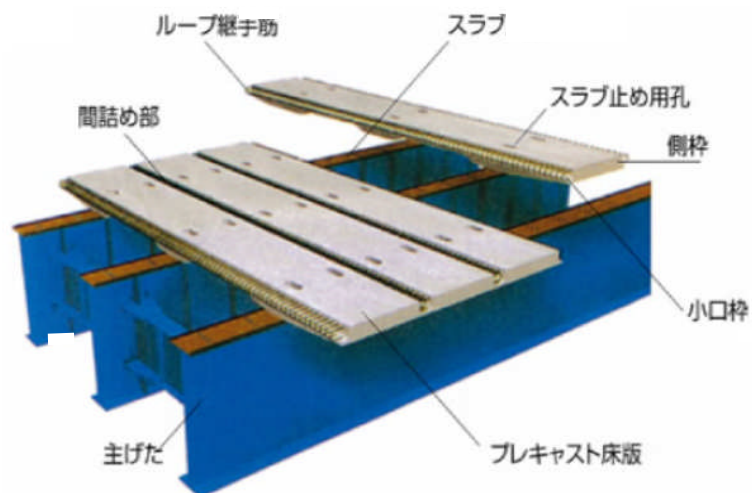
## 【菅波大橋 工事の状況】



## 【菅波大橋 プレキャストPC床板の概要】

### プレキャストPC床版

#### 概要

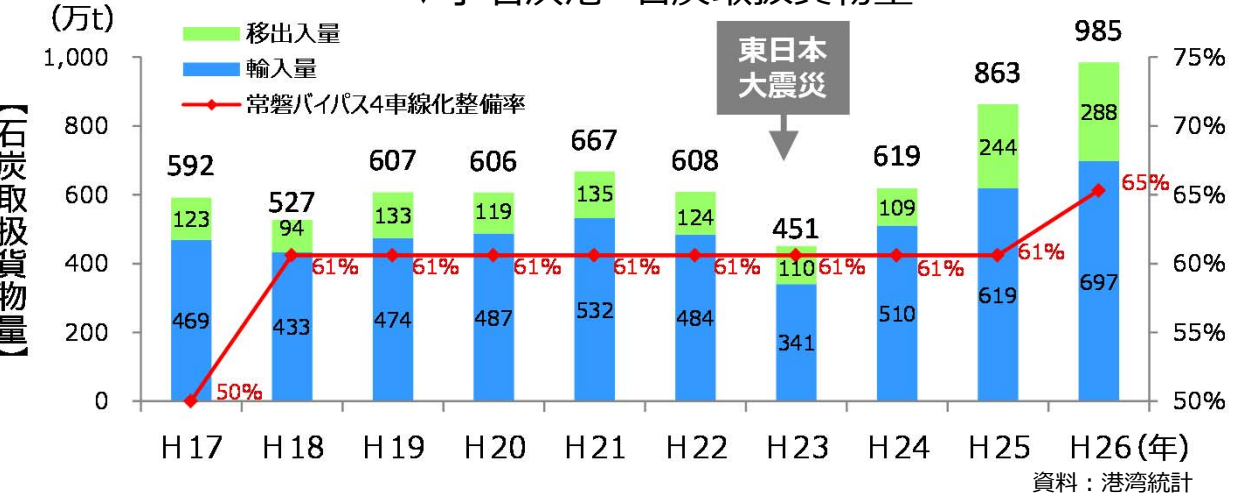




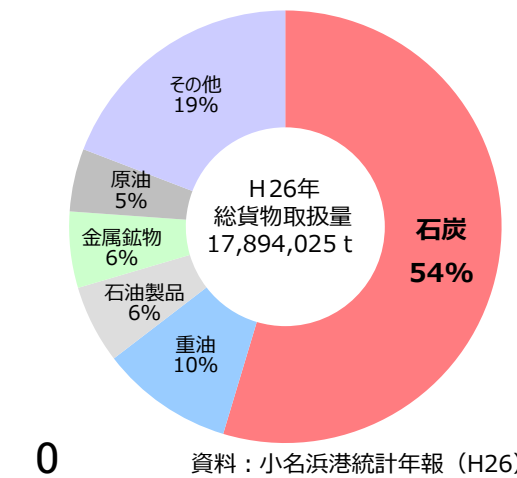
# 【常磐バイパス】期待される効果① 重要港湾「小名浜港」へのアクセス性向上

- ・常磐バイパスの沿線では工場の増新設が進み、工場～小名浜港の輸送において常磐バイパスが利用される
- ・常磐バイパスの整備とともに、小名浜港では陸送を行う石炭の取扱量が増加傾向（石炭は小名浜港の取扱貨物の約50%を占める）
- ・石炭の運搬先である火力発電所の施設増強（石炭ガス化複合発電）の計画や、小名浜港の東港地区の整備などにより石炭の取扱量が増え、今後更に常磐バイパスの利用増加が見込まれる
- ・常磐バイパスの4車線化、小名浜道路の整備に伴い、小名浜港へのアクセス性の更なる向上が期待される

▼小名浜港 石炭取扱貨物量



▼小名浜港 主要取扱貨物



▼小名浜港 東港地区整備の状況



▼いわき市の工業団地及び工場増新設箇所



■ 常磐バイパスを利用し、輸入した石炭・工業塩を小名浜港から勿来IC付近の工場までダンプトラック200台/日以上輸送しています。

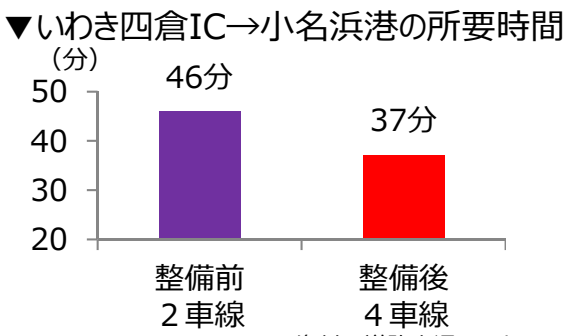
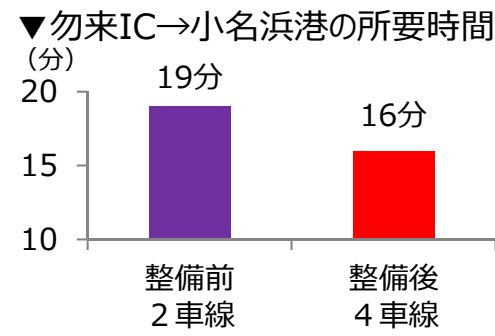
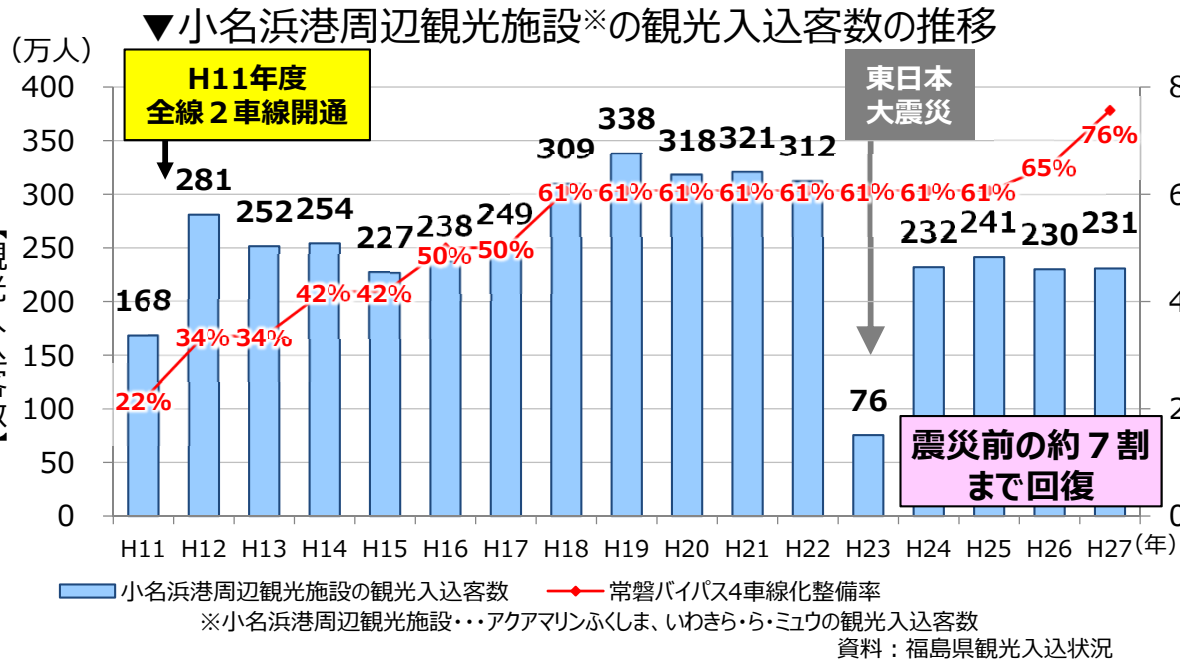
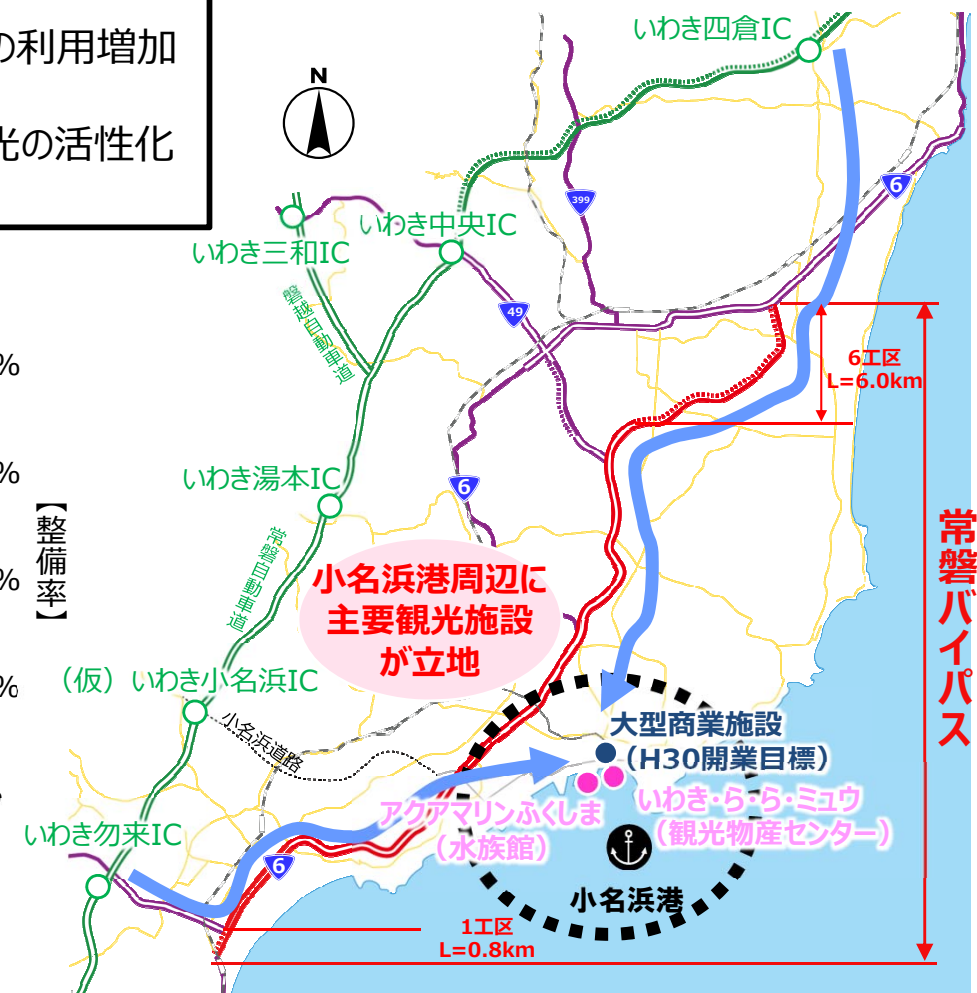
■ 4車線化によって渋滞が緩和したことで顧客先へ遅れることが無くなりました。

＜沿線企業の声＞

# 【常磐バイパス】期待される効果② 常磐道アクセス、交通混雑の緩和による観光の活性化

- ・これまで常磐バイパスの整備とともに、小名浜港周辺への観光客数が増加
- ・大型商業施設の進出（平成30年開業目標）により、更に常磐バイパスの利用増加が見込まれる
- ・常磐バイパス4車線化等の整備により、時間短縮・アクセス性が向上し、観光の活性化が期待される

## ▼小名浜港周辺の観光施設の立地状況



資料：道路交通センサス